

第 31 回沖縄県特別支援学校中学部 総合文化祭 県中文連会長挨拶

第 31 回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭開催にあたり、主催者を代表してごあいさつを申し上げます。

沖特中文祭は、「特別支援学校に学ぶ中学部の生徒の芸術文化に対する関心、意欲を高め、文化活動の充実向上を促進し、豊かな創造性、情緒の涵養に努め、心身ともに健全で調和のとれた生徒の育成」を目指し、毎年開催されています。また、本文化祭を通じた相互交流や、特別支援教育への理解、啓発に資する素晴らしい機会となっています。

昨年度で 30 周年の節目を迎え、特別支援学校中学部の生徒の皆さんの活躍に対し、激励や応援の輪が年々広がってきました。今後はさらに内容の充実とともに、WEB 配信などの工夫により、鑑賞の機会の拡充もますます期待されています。

沖縄県中学校総合文化祭は、毎年 12 月に開催されます。特別支援学校中学部からも舞台・展示の部に参加があり、これまでにエイサー、音楽演奏、ダンスなど多彩な演目が発表されています。昨年は第 30 回沖縄県中学校総合文化祭が、アトム・ユニバースてだこホールで開催され、創立 100 周年を迎えた沖縄ろう学校の皆さんが、学校の歴史や紹介をまとめた動画とともに平田大一さんとコラボしたエイサー「ダイナミック琉球」を映像で披露してくれました。一生懸命楽しそうに躍動する姿に感動した多くのお客様から、たくさんの拍手をいただきました。

今年度の沖縄県特別支援学校中学部 総合文化祭は「輝やけ新時代 夢をえがこう 私たちの未来」のテーマのもと、作品展示部門は 8 月 22 日（金）～25 日（月）に、沖縄県総合福祉センターにおいて県内 16 校の中学部に通う生徒の皆さんの絵画や木工、手芸、焼物など多数の個性豊かな作品が展示されます。また、セレモニーの部では西崎特別支援学校と、大平特別支援学校のアトラクションが映像で披露されます。これまで時間をかけて丁寧に作り上げた個性あふれる作品や発表により、生徒ひとりひとりの思いやきらめく感性が、訪れた多くの方々に届けられることを期待しています。

本総合文化祭を機に、一人でも多くの県民の皆様特別支援教育の大切さをご理解いただくとともに、元気に活動している子どもたちへの温かい声援を是非お願い致します。

結びに、第 31 回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭開催にあたり、多くの教育関係者の皆様、保護者の皆様から、生徒へ激励を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

併せて、沖縄県特別支援学校中学部文化連盟の岡越猛会長をはじめ、役員、スタッフの皆様、ご指導ご支援を頂いた関係各位の皆様に対して深く感謝申し上げ、貴文化連盟の益々のご発展をお祈りし、あいさつといたします。

令和 7 年 8 月 吉日
沖縄県中学校文化連盟
会 長 仲嶺 香代